

計 数	算 出 方 法	摘 要
総 資 本 営 業 利 益 率	$\frac{\text{営 業 利 益 (434)}}{\text{総 資 本 (326)}}$	事業で使用する投下資本がその活動によってどれだけの利益をあげたかを表すもので、事業の収益性を最も総合的に示す。この比率は高いほど収益性が良いこととなる。
総 資 本 純 利 益 率	$\frac{\text{税 引 前 純 利 益 (446)}}{\text{総 資 本 (326)}}$	
自 己 資 本 営 業 利 益 率	$\frac{\text{営 業 利 益 (434)}}{\text{自 己 資 本 (325)}}$	いかに自己の資本を利用して利益を獲得したかを示すものであり、この比率は高いほど良いが、自己資本の過少による場合には注意を要する。
自 己 資 本 純 利 益 率	$\frac{\text{税 引 前 純 利 益 (446)}}{\text{自 己 資 本 (325)}}$	
売 上 高 総 利 益 率	$\frac{\text{売 上 総 利 益 (415)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	売上高に対する利益の割合を示すもので、特に利益をどれだけあげたかは経営の最終的な関心事であり、収益性を判断するための基本的な比率である。
売 上 高 営 業 利 益 率	$\frac{\text{営 業 利 益 (434)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	
売 上 高 純 利 益 率	$\frac{\text{税 引 前 純 利 益 (446)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	
酒 卸 売 上 高 の 売 上 総 利 益 率	$\frac{\text{酒 卸 売 上 総 利 益 (401)-(408)}}{\text{酒 卸 売 上 高 (401)}}$	酒類卸売業に係る売上高に対する利益の割合を示す。
ビ ー ル 卸 売 上 高 の 売 上 総 利 益 率	$\frac{\text{ビ ー ル 卸 売 上 総 利 益 (402)-(409)}}{\text{ビ ー ル 卸 売 上 高 (402)}}$	
発 泡 酒 卸 売 上 高 の 売 上 総 利 益 率	$\frac{\text{発 泡 酒 卸 売 上 総 利 益 (403)-(410)}}{\text{発 泡 酒 卸 売 上 高 (403)}}$	
売 上 高 対 酒 卸 売 上 高	$\frac{\text{酒 卸 売 上 高 (401)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	総売上高に対する酒類卸売業における売上高を示すものであり、専業割合ともいえる。

計 数	算 出 方 法	摘 要
売 上 高 対 ビ ー ル 卸 売 上 高	ビ ー ル 卸 売 上 高 (402) 総 売 上 高 (407)	
売 上 高 対 発 泡 酒 卸 売 上 高	発 泡 酒 卸 売 上 高 (403) 総 売 上 高 (407)	
自 己 資 本 比 率	自 己 資 本 (325) 総 資 本 (326)	
総 資 本 借 入 金 比 率	借 入 金 (313)+(316) 総 資 本 (326)	
総 資 本 回 転 率	総 売 上 高 (407) 総 資 本 (326)	事業に投下された資本の活動能率を表すものであり、高いほど良い。
売 上 高 金 融 費 用 率	支 払 利 息 + 割 引 料 (440)+(441) 総 売 上 高 (407)	支払利息割引料の負担が売上高に対し、どの程度であるかを示し、これは経常利益に影響する。
仕 入 高 対 受 取 リ ベ ー ト 率	受 取 リ ベ ー ト (436)+(437) 当 期 総 仕 入 高 (503)	仕入に対するリベートの受取の割合を示す。
売 上 高 対 支 払 リ ベ ー ト 率	支 払 リ ベ ー ト (442)+(443) 総 売 上 高 (407)	売上に対するリベートの支払の割合を示す。
売 上 高 対 受 取 リ ベ ー ト 率	受 取 リ ベ ー ト (436)+(437) 総 売 上 高 (407)	売上に対するリベートの受取の割合を示す。
酒 売 上 高 対 酒 支 払 リ ベ ー ト 率	酒 類 の 支 払 リ ベ ー ト (442) 酒 類 売 上 高 (401)+(404)	
酒 売 上 高 対 酒 受 取 リ ベ ー ト 率	酒 類 の 受 取 リ ベ ー ト (436) 酒 類 売 上 高 (401)+(404)	

計 数	算 出 方 法	摘 要
売 上 高 管 販 比 率	$\frac{\text{一 般 管 理 販 売 費 (433)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	1 単位の売上に対する費用がどれだけかかったかを示すもので、比率が低いほど販売コストの経費効率が良い。
売 上 高 人 件 費 率	$\frac{\text{人 件 費 (416)+(417)+(418)+(426)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	
売 上 高 広 告 販 促 費 率	$\frac{\text{広 告 販 促 費 (422)+(424)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	
売 上 高 配 送 費 率	$\frac{\text{配 送 等 関 係 費 用 (431)}}{\text{総 売 上 高 (407)}}$	
一 企 業 当 た り 付 加 価 値 B	人件費＋減価償却費＋賃借料＋租税公課＋支払利息＋割引料＋税引前純利益 (416)～(421)＋(426)～(429)＋(440)＋(441)＋(446)	付加価値とは、他から購入した財貨に、生産及び販売活動を通じて新たに付加した価値で、その者の内部的生産努力の大きさを示すものである。
一 企 業 当 た り 付 加 価 値 A	付加価値B－（支払利息＋割引料） 付 加 価 値 B－(440)－(441)	
付 加 価 値 生 産 性	$\frac{\text{付 加 価 値 B}}{\text{役 員 ＋ 従 業 員 (122)+(124)}}$	
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産 (305)}}{\text{流 動 負 債 (315)}}$	短期の他人資本とこれを返済するのに必要な財源を比較する比率で、この比率が大きいほど返済能力があり、経営の安全が保たれていることを示す。
当 座 比 率	$\frac{\text{当 座 資 産 (301)+(302)}}{\text{流 動 負 債 (315)}}$	流動資産のうち、さらに流動性の強い当座資産と流動負債の割合であり、100%以上が望ましい。
固 定 比 率	$\frac{\text{固 定 資 産 (309)}}{\text{自 己 資 本 (325)}}$	固定資産がどの程度自己資本でまかなわれているかを測る基準で、100%以内であることが望ましい。

計 数	算 出 方 法	摘 要
固 定 長 期 適 合 率	$\frac{\text{固 定 資 産 (309)}}{\text{長期借入金} + \text{自己資本 (316) + (325)}}$	
負 債 比 率	$\frac{\text{負 債 (320)}}{\text{自 己 資 本 (325)}}$	自己資本は負債を担保すべきものであるから、比率が低いほど負債の安全性が大きい。
流 動 資 産 回 転 率	$\frac{\text{総 売 上 高 (407)}}{\text{流 動 資 産 (305)}}$	流動資産がどれだけの売上をあげるかを示すものであり、比率が高いほど良い。
受 取 勘 定 回 転 期 間	$\frac{\text{年 平 均 売 掛 債 権 (502)}}{\text{1 日 当 た り の 総 売 上 高 (407) \div 365}}$	売上に対する売上代金の回収速度であり、比率が低いのは代金回収が速いことを示す。
支 払 勘 定 回 転 期 間	$\frac{\text{年 平 均 買 掛 債 務 (501)}}{\text{1 日 当 た り の 総 仕 入 高 (503) \div 365}}$	仕入に対する支払代金の支払状況を示すものであり、比率が低いのは支払が早いことを示す。
商 品 回 転 期 間	$\frac{\text{商 品 (303)}}{\text{1 日 当 た り の 売 上 原 価 (414) \div 365}}$	商品の在庫状況を示すものであり、比率が低いほど在庫期間が短いことを示す。

(注) 算出方法欄の各項目の横の () は、調査表の項目番号を表す。